

・パケットパスを設定するための5つの基本的な方法を説明します。
方法3から5までは一歩進んだ方法です。

方法1(特定のパス):

中継させたい1局もしくは複数局の中継局のコールサインを順番に記述します。
例:“KD6ZZV,KF6RJZ”.

方法2(一般的なパス):

[RELAY, WIDE]と記述し、最初に近傍のRELAY中継局で中継させ、次にその信号をWIDE中継局で中継するように指定。同様に複数のWIDE中継局を記述することも出来ます。例:[WIDE, WIDE]

方法3(WIDEN-N):

[WIDEN-N]と記述する方法。Nは中継させたいWIDE中継局の数です。
例:[WIDE3-3](または[W3])
発信したAPRSパケットは3局のWIDE中継局によって中継されます。

方法4(TRACEN-N):

WIDEN-Nと同様の中継動作ですが中継局が中継を行う際、中継局のコールサインがパケットパスに書き加えられます。
例:[TRACE3-3](または[T3])

方法5(SSIDパス):

SSIDの数(1-15)の中継局により中継させます。中継させたい中継局数を簡単に指定することが出来ます。また、貴局の位置に対してどの方角に有る中継局に中継させるかも指定することが出来ます。
表を参照してください。

SSID番号	中継させる デジピーター局数	中継させる デジピーターの方角
1	1局	全方位
2	2局	全方位
3	3局	全方位
4	4局	全方位
5	5局	全方位
6	6局	全方位
7	7局	全方位
8	2局以上 ※1	北方向
9	2局以上 ※1	南方向
10	2局以上 ※1	東方向
11	2局以上 ※1	西方向
12	相当数の局 ※2	北方向
13	相当数の局 ※2	南方向
14	相当数の局 ※2	東方向
15	相当数の局 ※2	西方向

※1: 貴局が発信したAPRSデータを受信した最初の中継局は、転送の際に目的地までの全部の中継局経路を指定します。通常2局の中継局が使用されます。

※2: 貴局が発信したAPRSデータを受信した最初の中継局は、次に中継させたい中継局のコールサインを指定します。データが目的地に到達するまでこれが繰り返されます。